

川医総発第47号
令和4年3月30日

川口市監査委員 澤野 高雄 様
同 金井 洋 様
同 野口 宏明 様
同 芝崎 正太 様

川口市長 奥ノ木 信夫 印



包括外部監査結果に対する措置について（通知）

平成30年度包括外部監査結果について、別紙のとおり措置を講じましたので、地方自治法第252条の38第6項の規定により通知します。



指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
指摘10	122	入院未収金の内の6年以上滞留分の回収に注力を	対応中	入院未収金は、未収金管理システムを導入し、フローチャートでの段階ごとの流れによる一週間ごとの債権の動きを確認することによって、高額な債権まで管理することが可能となった。6年以上滞留分の分割納付が中断したものであることが判明した場合には督促、催告を的確に実施し、債権回収の状況を踏まえつつ丁寧な対応を行っている。6年以上滞留分の債権額は、債権内容を精査し回収不能債権を放棄する等整理を行った結果、残高レベルは、平成30年度は23.7%、令和元年度は22.1%、令和2年度は、16.8%と減少している。今後も更なる圧縮に努める。	医事課
指摘11	124	外来未収金の回収に注力を	対応中	令和元年度に、医事課内の組織改正を行い、入院・外来の未収金を一元管理することで、適切な督促事務を実施し、回収漏れの防止に努めている。 未収金は、回収を早期に促進するために、未収情報を早期に把握し、電話連絡を取りそれでも未納の場合は、2週間後に督促を更に2週間後に催告を実施している。更に全く反応がない、また、郵便物が届かない場合は臨宅訪問も実施している。それでも全く反応がない場合は、1か月経過時点で未収金回収業務委託を締結している法律事務所に、未収債権の回収を委任し、回収の適時化及び回収促進に取り組んでいる。	医事課

指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
指摘12	125	外国人未収金に関する早急の対策	対応中	<p>保険証等の確認にあたり、顔写真つき公的身分証明書の提示を求めるなど本人確認を徹底している。診療費の支払いが困難な場合の納入誓約書の徴取に当たっては、確実な回収ができるように家族・知人等複数の連絡先の記入を求めている。また、平成31年2月より通訳機能 iPad やテレビ電話通訳を各ブロックで用い診療費の請求から支払いまでを説明し、未収金の圧縮に努めている。また、令和3年10月からオンライン資格確認制度の運用を開始し、事前に保険の加入状況を確認すると共に、入院費が高額となり支払い困難な場合は、分納相談やその他関連期間への案内など、入退院センターと連携し、未収金抑制に取り組んでいる。</p>	医事課
指摘13	128	発生年度の翌年度の回収に全力を（外来未収金）	対応中	<p>令和元年6月から医事会計システムに未収金管理システムを導入し、フローチャートを入れ機能の向上、充実を図り、未収金管理が従前より容易になり、効率的な回収方法が改善された。未収金の回収は発生から早期対応が重要であり、現年度分の回収に適切に取り組み、翌年度未収金額の抑制を推進している。令和2年度分外来未収金は、当初881件、11,667,052円に対し、令和4年2月28日時点で、250件、4,762,020円に減少しており、約6割の回収に努めた。また、指摘11の対策を行いつつ、支払いに応じない債権者は未収金回収業務委託を締結している法律事務所に債権の回収を委任し削減に努めている。この他外部とのご協力により川口市薬剤師会に未収金抑制対策として、処方薬の受取りに際し、医療費未納での受取り防止に協力を得ている。</p>	医事課

指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
意見4	51	現金預金の減少への対策が必要である。	対応中	令和元年度末の現金預金は約9.7億円まで減少したものの、令和2年度末の現金預金は約24.7億円に回復。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で、医業収支単体で見ると収益悪化が懸念されるため、現金預金の動きに注視し、資金不足のないよう努めている。引き続き、クリニカルパス適用の拡大及び早期退院支援の促進によるDPC対象入院期間の適正化、外来診療の適正化、診療報酬請求の点検と確実な収益化により増収を図るとともに費用については、医薬品等の価格交渉、診療材料の物品統合等により廉価での購入を努め削減を図っていく。	病院総務課 経営企画課 (管理課)
意見5	51	流動資産の未収金に計上されている職員に対する所得税追徴税額の早期回収について	対応中	未納者への督促により令和4年2月末時点で、12名530,600円を回収。未回収分は退職などで居所が不明のため回収困難なもの18名分651,400円については、引き続き督促を行い回収に努める。	病院総務課

指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
意見6	56	一般会計負担金の診療科別充当金額を把握すべきである。	対応中	診療科別損益計算が一般会計負担金の精算に使用できれば精算が精緻化されるが、一般会計負担金の精算は、年度末から1か月程度の期間で決算作業と同時進行で行うため、短時間での集計が可能な資料により合理的な精算を行っている。一般会計負担金における大部分の繰出基準が診療科別損益計算ではないため、診療科別充当額を把握する必要性については今後も検討課題とする。	病院総務課

指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
意見7	62	退職給付引当金の引当額と実給付額との差額が多額である場合は、決算書においても計上することを検討すべきである。	対応中	公営企業での算定方法については、平成26年度地方公営企業会計制度改正時に総務省資料に記載された通り、「期末要支給額（年度末に特別職を含む全職員（年度末退職者を除く。）が自己都合により退職するものと仮定した場合に支給すべき退職手当の総額）によることができる。」とされることから、その対応を検討している。	病院総務課
意見12	90	インシデント・アクシデントの報告を様々な角度から分析できるような集計方法を検討し、集計結果を分析して業務改善に活かすべきである。	対応中	院内設置の医療安全チームにおいて、事例を共有、分析及び解決策を検討し、その検討結果を現場にフィードバックし再発防止に努めている。また、集計方法等については、システム構築を含め対応中である。	病院総務課
意見23	131	未収金回収業務委託契約の契約方法	対応中	債務者死亡に伴う相続人の調査・特定・請求など、回収業務が年単位を超える特殊な債権は、途中での委託業者交代が混乱を生ずることは十分想定されるが、平成27年度から経年経過しているため、意見に従い、プロポーサル方式による業者の決定及び複数年度契約を基本に、報酬率の圧縮と競争性を確保すべく準備を進めている。	医事課

指摘・意見の別	報告書掲載頁	要旨	進捗状況	措置の内容又は対応の状況	所管課
意見35	227	時間外勤務管理システムの導入について	対応中	導入済みの医師の勤怠管理システムを、2024年4月からの医師の時間外勤務の上限規制（医師の働き方改革）に向け、規制に対応したシステムへ変更する予定。対象外である技師については、システム変更後にシステムの利用を検討している。	病院総務課